

## インターバンクの声（2016年3月24日）

昨日の海外市場は、東京市場と同様に目立った材料はなかったが、今週になって立て続けに米連銀総裁が4月の追加利上げの可能性を示唆した発言が引き続き意識され、序盤はドル高地合いが続いた。ニューヨーク市場が始まり、セントルイス連銀のブラード総裁もテレビインタビューで4月の追加利上げの可能性を示唆し、これがダメ押しとなってドル円も久々の113円台乗せかと思いきや、やはり利上げを匂わす発言も4人目、5人目ともなってしまうと効き目が薄れるのか、皮肉にもブラード総裁の発言が伝わった直ぐ後が昨日の対円のドル高値で、そこからドルが下げ始めた。勿論、ドルが下げ始めたのは原油在庫の急増もあって原油先物相場が大きく下げ始めたことや米国債利回りの低下などが主要因なのだが、イースターのため金融機関が取引量をかなり抑えていることも影響していたはずだ。油断禁物だが、実質的には欧米の為替取引が通常通りに戻るのは来週の火曜日からで、そこから改めて4月の米追加利上げと米雇用統計の結果を睨む相場展開になるだろう。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。